

心臓外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	経皮的僧帽弁閉鎖不全修復術を施行した患者さんの早期、遠隔期成績に関する研究
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科) 心臓外科 (職名) 講師 (氏名) 栃井将人
試料・情報の利用目的 及び利用方法	<p>[利用目的]</p> <p>当院で経皮的僧帽弁閉鎖不全修復術を受けられた患者さんのその後の経過を検討することを目的にしています。</p> <p>[対象となる患者さん]</p> <p>2023年4月から2026年12月までに当院で経皮的僧帽弁閉鎖不全修復術を受けられた患者さん</p> <p>[研究期間]</p> <p>研究実施承認日 ~2028年3月31日</p> <p>[利用方法]</p> <p>年齢、性別や、術式(使用したクリップの種類や個数、手術時間)、心臓超音波検査の値(僧帽弁逆流の程度や、原因の場所、心臓の機能など)、合併症の発生の有無、退院後に心不全入院したかどうか、死亡した場合はその原因などの項目を調べます。これらの項目を検討することで手術の前の状態や手術のタイミングや方法が、その後の経過にどのように影響を与えたかを検討する場合に使用します。</p> <p>[他の機関へ提供される場合はその方法]</p> <p>なし</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報: 診療情報(年齢、性別、血液検査結果、手術時間、診断画像情報など)、解析データ等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当

提供する試料・情報 を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	非該当
利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年3月31日までに電話または郵送により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 心臓外科 担当者：(職名) 講師 (氏名) 栃井将人 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 内線 (77657)